

コンテ

2007.9



無為にして治むる者

会社を経営するにあたって、どのような経営者であれば、発展させられるのでしょうか。

会社を発展させようという思いは、経営者であれば共通の思いです。そのために、書籍を読んだり、講演を聞いたり、優秀な経営者の話を聞いたりしている経営者も多くいます。

論語に次のような文章があります。

『無為にして治むる者は、それ舜なるか。それ何をか為さんや。己を恭(うやうや)しくして、正しく南面するのみ。』

これを訳すと次のようになります。「無為の姿勢で政治を行った人といえば、舜であろうか。この人は、何一つ積極的な政治を行ったわけではない。ひたすら謙虚な姿勢で天子の位に座っていただけである。」

積極的なことをせず、謙虚な姿勢でいる、つまり「無為」なものが国を治める

のによいというのです。

では「無為」なのに、なぜ天下が治まったのでしょうか。

第一に、すぐれた「人材」を登用して適材適所に配置し、彼らを信頼して仕事を任せただけです。

第二に、要(かなめ)の部分はしっかりと押さえて「組織」を掌握していたのです。

「名選手必ずしも名監督にあらず」と

という言葉があります。いくら技術的に優れた人でも、「人材」と「組織」を掌握しなければ、強い集団にならないということです。

企業経営する上において、心したいものです。

降 簾 達 生



ISO13485 取得を終えて

橋本螺子株式会社

「十分条件から絶対条件へ」

医療器具品質の国際規格であるISO13485を取得した橋本螺子株式会社の皆様からそのノウハウを聞きました。

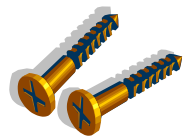
弊社は以前から社員教育を強化してまいりました。その一つの取り組みとしてISO9001をまず先に推進して取得しました。

この段階ではよいツールとして活用してきました、それなりの成果がありました。(橋本社長談)

今回のプロジェクトでは、ISO13485取得を医療製造許可という法令に基づいた活動と位置づけました。この活動は、我が社の新規ビジネス展開において十分条件でなく絶対条件となりました。

重要な営業戦略の一環として、役所に何度も足を運びマニュアル等の打合せをしてきました。また、工場を新設し機械も最新のものとなりました。

(伊藤管理責任者談)



製品は手術用器具です。材質はステンレス等を加工して製造します。人体に影響を与える製品ですので、ISO9001とは比べようもないくらい2重、3重のリスク管理システムを構築しております。

記録も多く作成して証拠として、また社内データとして貴重な資料となっております。その結果として海外との取引も可能となりました。

(鈴木製造責任者談)

こうして幅広いビジネス展開が可能となりました。ISO13485の取得が新しい扉を開いた感じです。今後、このシステムを十分に活かして他社との差別化を推進していこうと思います。

(橋本社長談)

会社概要

橋本螺子株式会社
代表取締役社長 橋本秀比呂
〒430-0801
静岡県浜松市神立町 124 の 11
TEL: (053)461-5012
FAX: (053)464-1659
URL: <http://www.hashimoto-neji.co.jp>

日用品から工業用・医療用などの特殊螺子まで、螺子のプロとして研究開発と製造販売をしています。

若手社員のため基本マナー 第7回

コミュニケーション・スキルを磨く 2

今まで学校では、いろいろな知識を学んできた事でしょう。しかし、実社会でその知識がすべて役立つわけではありません。仕事の能力やスキルは会社に入ってから、いくらでも磨くことができますし、その方が実践的な知識です。残念ながら、学校で学んだ知識だけでは仕事はできません。

ビジネスパーソンには、大きく分けて「ビジネス・スキル」と「コミュニケーション・スキル」が必要で、それらのバランスがとれていることが重要です。新人や若手社員のうちは、コミュニケーション力の高さと何か仕事を乗り切れるものです。

コミュニケーション能力を高めるために必要な姿勢は5つあります。まず、自分をよく知っていること、自分をよくわかっていて、意見や主張をしっかりと持っていることです。聞き上手になること、自分がよい聞き手になって相手の話をうまく引き出せるようになることが大切です。自分のアイデアや考えを明確に表現できること、日頃から自分の周りのことにアンテナを張り、出来る限り情報を得ようと努めることが必要です。感情のコントロール、感情が豊かなのは悪いことではありませんが、感情に左右されるようではいけません。

他人にレッテルを貼られないこと、「あの人はこういう人だ」と決めつけずに、誰にでも自分の心を開けるようにしたいということです。

「自分」とは一番身近な人間でありながら、自分で自分を理解するのは難しいですね。コミュニケーション能力で一番重要なのが「自己概念を持つ」ことです。自己概念とは、物事について自分がどう考えるのかがわかり、自分の意見をはっきりと持ち、自分の存在意義を把握していることです。自分が考えている自分と、他人から思われている自分が違うことがよくあります。本来自分はどんな人間なのか、物事をどう捉える傾向があるのかなど、漠然とした自分を科学的なデータをもとに分析し、知ることが自己分析です。

自己分析によって、自分の性格や態度の傾向をすべて洗い出し、長所となる部分はさらに強みとして育てます。短所となる部分は、どんな状況下でそれが表れるかを知り、逆の思考や態度をとるように気をつけることができます。

(コミュニケーションスキルを磨く「ダイヤモンド社」)



試験はCBT形式になりました。
詳細は、(社)日本バリューエンジニアリング協会
ホームページ <http://www.jive.org>

VEリーダー認定試験案内

後期	試験期間	2007年10月15日(月)～2007年2月29日(金)
	受験申込受付	2007年9月25日(火)～
受験申込期間		受験希望日の2ヶ月前から3営業日(土日受験は4営業日)前まで
受験申込変更・キャンセル		受験日の3営業日(土日受験は4営業日)前まで可能

所要時間	90分
受験料金(税込)	21,000円(学生の方は10,500円)
合否判定	試験終了後、受験会場で結果をお知らせします。(合格基準70点以上)
注意事項	受験当日、試験会場にて本人確認書類の提示が必要です。提示できない場合は受験できません。